



公開授業・研究協議会の詳細決まる!

～深く学ぶための種をまこう～

11月に開催予定の公開授業・研究協議会の要項ができあがり、各教育関係機関に送付されました。これまでメンバーが研究してきた成果を校内外に公開し、議論を深めることで、本校教員の指導力・協働力の向上、さらに若手教員の育成を図ることを目的としています。当日の日程、および授業内容は次の通りです。

- 1～4限 8:40～12:10 (45分)
- 昼食 12:10～12:50
- 5～6限 12:50～14:30 (45分)
- (受付 14:00～14:30)
- 公開授業 14:40～15:30 (50分)
- 研究協議 15:35～15:50 (全体会：生徒ホール)
- 15:55～16:40 (分科会：各特別教室)

第7回PT会議より

「公開授業指導案&金大入試問題例検討」

第7回のPT会議では、金沢大で実施される文系後期一括入試の問題例について検討しました。問題例によると、資料を読解・分析し、得られた内容を思考・判断し、それを表現する力を問う問題となっています。大学入試問題の変化に伴い、PTが進めている「思考を深める授業」の大切さをあらためて痛感しました。

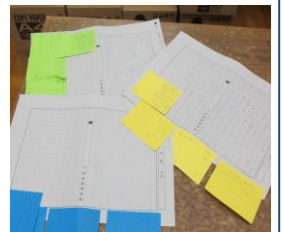
また、公開授業にむけて授業者が指導案を持ち寄り、検討・協議を開始しました。実りある公開授業・研究協議会とするため、メンバーも準備を急ピッチで進めています。

授業実践報告

「人はなぜ、戦争をするのか?」

辻崎 千尋 教諭 2年8組「現代文」

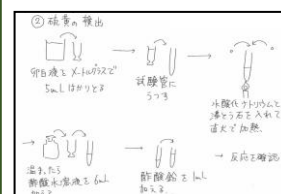
現代文で扱っている「分かち合う社会」という教材では、人類特有の分かち合う精神について考えさせています。教科書の出典元『人はなぜ戦争をするのか』から別の部分「戦いの本質とは何か」という箇所を抜粋し、差し込み教材として生徒に提示して、戦争に対する生徒の意見を書かせました。戦争する原因について生徒一人一人が自分の意見をまとめ、それを班のメンバーが付箋でコメントをつける、という活動を取り入れました。最近の国際社会情勢は緊張状態にあり、日本の領空をミサイルが飛ぶような状況にあります。そのような状況だからこそ、戦争について真剣に自分の意見を持ち、人の意見に耳を傾ける重要性を感じました。



「主体的で、思考を深める実験」

谷口 溪 教諭 3年3組「化学」

化学の授業における実験を、生徒たちに主体的に取り組みせながら、いかにミスなくスムーズに進めさせることができるか。前号でご紹介した1年生の化学基礎の授業では、前方のスクリーン上に実験の動画を繰り返し写しだし、それを参考にさせました。今回の授業は3年生ということで、動画ではなく手作りイラストのプリントを参照させ、それに沿って実験をさせました。教師の細かい指示がなくても、生徒たちはプリントを見ながら考えて取り組み、どの班も失敗することなく実験を終えました。その後、実験によって分かったことを班で話し合わせ、発表するという授業を展開されていました。



【授業内容紹介】

国語

1-9 河野 美涼	国語総合	「漁父辞」(改訂版 新訂国語総合 古典編 第一学習社) 生徒一人ひとりが自分の生活に結びつけて考えを深められるような授業を目指します。
2-9 辻崎 千尋	現代文B	「敬語への自覚、他者への自覚」(現代文B 大修館) 生徒の思考を深めるプリントを使った授業実践を行います。

地歴公民

1-2 相道 孝志	現代社会	「飲み歩き、食べ歩きから自由と「公共の福祉」を考える」(現代社会 東京書籍) 「公」と「私」の対比から自由について考える授業を行います。
1-8 久島 裕	現代社会	「環境保全と循環型社会」(現代社会 東京書籍) 環境を守っていくためにやるべきことを考える授業実践を行います。
2-7 室井 浩貴	世界史B	「教会の権威」(詳説世界史B 山川出版) 中世ヨーロッパにおける教皇権伸長について深く学ぶ授業を行います。
2-8 田中・寿和	世界史B	「十字軍とその影響」(詳説世界史B 山川出版社)「興味・関心を高める」ことと「深い学び」を目標に授業を行います。

数学

1-5 竹林 亜紀	数学A	「1次不定方程式」(改訂版 数学A 数研出版) 整数解の求め方について深く学ぶ授業実践を行います。
2-3 今川 大輔	数学III	「関数の極限」(数学III 数研出版) 求めにくい極限についての授業実践を行います。

理科

1-6 谷口 溪	化学基礎	「中和滴定」(化学基礎 改訂版 啓林館) 中和滴定による濃度の決定を実際に行い、実験を通して滴定計算の定着を図る授業を目指します。
2-1 小原 崇裕	理数物理	「ドップラー効果」(物理 啓林館) ドップラー効果に関わる問題を入試問題形式で出題し、ジクソー法を用いて解法を思考・共有する授業を実践します。
2-6 本田 千晶	地学基礎	「大気と海洋」(改訂 地学基礎 第一学習社) 実験を通して、身近な気象現象の理解が深まることを目指します。

英語

1-4 鈴木 和亮	コミュニケーション英語I	「Bopsy」(Revised Element English Communication I 啓林館) 難病の少年の夢を巡る登場人物の心情が深く理解できる授業を目指します。
--------------	--------------	---

家庭科

1-7 角正 康弘	家庭基礎	「親の役割」(家庭基礎 第一学習社) 親と子の関係から、信頼関係形成のプロセスについて深く考える授業実践を行います。
--------------	------	---

ひとりごと これまでの活動の成果を示すべく、11月に開催される「公開授業・研究協議」にむけて、PTのメンバーは指導案の作成・検討など、準備をすすめています。先生方には授業参観ならびにご高評のほど、よろしくお願ひします。私もおよいよICT機器にチャレンジします。